

きらめき

平成22年7月10日発行

第13号

発行：社会福祉法人 北星会
編集：広報誌編集委員会

社会福祉法人 北星会 〒626-0033 京都府宮津市字宮村1277番地
TEL：0772-22-0320 ホームページ：http://www.hokuseikai.or.jp/
FAX：0772-22-8477 Eメール：info@hokuseikai.or.jp

散髪 ボランティア

与謝の園では日頃多くのボランティアの皆さんに支えられていますが、今回は開園当時よりお世話になっているカトレア会さんの紹介をしたいと思います。
カトレア会さんは与謝野町で活躍されている現役の美容師さん達です。
年に4回来園され、新館ホールやステージ前でカットしていただきます。毎回多くの人が利用し、心待ちにしている人もいらっしゃいます。
カトレア会さんが到着される20分前から順番待ちです。到着とともに手馴れたもので、手際よく次から次に利用者の髪をカットし休憩する間もなく約2時間：汗だくになりながらお世話になっていきます。
カットを終えた利用者から「お代はいくらになるかね？」「お金は持ってきてないで…」の問いかけに

も慣れたもので「大丈夫です」「お代はいらへんで」と笑顔で返答されています。
利用者は「ほんまスッキリしてうれしいわ」「気持ちよかった。ありがたう！」とお礼の言葉を笑顔で言っています。
部屋までの帰り際、職員から「美人度が上がったで〜！」の掛け声に照れくさそうに笑う姿がとても印象に残りました。
この他にも多くのボランティアの皆さんに支えられています。本当にありがとうございます。

(黒垣英樹・小田 晋)



「とても気持ちがいいし、鏡を見るのが楽しみ！」

3月3日はひな祭り

「灯りをつけましょぼんぼりに、お花をあげましょ桃の花…」
ここは与謝の園新館ホール。東垣相談室長の奏でるピアノの音が響きます。この日は3月3日ひな祭りです。飾られたお雛様がちようどお年寄りさんの目線にきて一段と華やかでした。



与謝の園自慢のお内裏様2人と記念撮影

ひな祭りにちなんで、希望した利用者に着物を着てもらいました。その様子を少しご紹介。
「どの着物を着よう」と迷う利用者さん。「こんなハデだわ」と思わず言

職場で取り組む健康づくり表彰



このたび天橋の郷は、『職場において積極的に健康づくり事業を推進するなど素晴らしい取り組みを行っている事業所』ということで、

限界への挑戦 Part II

前号でその活躍ぶり？を紹介した、なぎさ苑自転車部の「チームへっぽこ丸」
5月5日のこどもの日、2回目の挑戦をしました。
今回も三重県の鈴鹿サーキットで行われた8時間の耐久レース。1チーム6名まで参加でき、交代は何度でも自由に行えるのですが、故障者等も

京都府から表彰されました。
高齢者介護施設は「3K職場」といわれるなか、当施設では、職員が健康で安心して職務に従事し、継続して働けるような職場環境を目指しています。特に職務上、腰痛などの体調不良を訴える職員が多いことから、「腰痛予防体操」「オリジナルおたっしや体操」の創作・普及を進めています。併せて、「腰痛検診」の年2回実施や嘱託医による個別健康相談・メタボ講習会により、健康生活の維

あり、今回わがチームから出場したのは、なんと3名！「へっぽこ丸」がさらにへっぽこに：いやいや過酷には違いがないが、チームワークと根性でここまで来たら行くしかない！と頑張りました。
朝8時にスタート。止まることなく3人で交代し、気持ちよさそうに昼寝している応援者を横目に夕方4時のゴールまで走り続けること8時間。



昼寝していたのは、誰？

結果は212チーム中155位。帰りには次回の秋のレース出場に向け、更なる結束？を誓いました。
(飯井武史)



「とても楽しかった！」

葉が出たり「とうから着物なんて着てへんわ」「これステキだーなあ」と嬉しそうなお表情をいっぱいに見せてくれました。なかには「こんな私だけど（車椅子）、着れるんか？」と不安げな様子の人も…。
でも大丈夫です！着ていくうちに「こうやって着るんだったな」と着物のかけあわせを自ら率先して着付けはすすんでいきました。いつもは少し前かがみでも「帯を締めると、しゃきつとするわ！」と背すじをのぼす人もいて、いろんな発見がありました。
いろんな声が聞こえる中、田中介護員の手際よく着付けで着物美人が誕生していきます。自分で選んだ着物はとてもよく似合っていて、着物っていいなと思わせてくれました。
そんな賑やかな着付けもなんとか終了し、ひな祭りの始まりです。まずお内裏



着物ショーの一幕です

様に任命された吉川介護員のおひな様にまつわるお話です。みなさん「なるほど」と感心して聞いていました。次に着物を着た方による着物ショーの始まりです。みんなの前でくるっとまわって、ハイポーズ。少し照れながらの写真撮影となりました。着物ショーの後には春の歌の合唱。みなさん、春の歌と聞いてどんな歌を思い出しますか？さすが人生の大先輩。春の歌と聞いただけで、様々な題名が出てきます。職員が「茶摘」と口を滑らすと「それは初夏だあなあ」と鋭いつつこみが入ります。フィ

ナールは中村介護員の歌唱指導による与謝の園小唄を皆さんで歌って幕を閉じました。
与謝の園が誇る厨房職員お手製ピーチゼリーのデザートも会に花を添えています。ほんのり桃色をしたゼリーを見てみると節句を祝っている感じがしてなかなかグッドでした。
着物を着たみなさん、久しぶりに締めた帯は苦しくなかつたですか？
最後にある利用者から「この自前の着物をもう一度着たかったから、今日はとても嬉しいです」と言っていたいただいた言葉がとても印象に残りました。
また来年も着物が着れるよう元気でお過ごし下さい。
(田中暁子・小牧寿津子)

介護施設の新施設

「よろしくお願ひします」

4月から、宮津市由良のはまなす苑通所介護事業所（デイサービス）の施設長が変わりました。新任は蘇理町子です。前任・有田幸子もいろいろとお世話になりましたが、今後もより一層のお力添えをよろしくお願ひ致します。

内部で大胆な引っ越しをして、支援センターと場所を入れ替えました。広くなって、より動きやすく、明るい場所でも過ごしてもらえようになりました。

しかし黙々と創作していました。（太田博士）



熱心に作業する飯尾さん



お知らせ

これまで、はまなす苑の利用料に関する業務など、一部業務を天橋園にて行っておりましたが、業務移管に伴い4月より天橋の郷が業務を引き継ぎます。

ご不明な点は、はまなす苑 26・9026 まで、お問い合わせ下さい。

なつがしの味

宮津の食卓

ちらし寿司・握り寿司のような豪華なお食事もいいのですが、天橋の郷の梓ユニットでは利用者が自宅で作り、食べておられたような『昔からのなじみのある食』をテーマに行事を催しています。

「昔はなあ、この辺でよく鯛が獲れたでなあ。天氣のええ日に頭落として開いて、お醤油やみりんに漬けて干したんを母が売り歩いたんや」と八木さんが遠い昔を回想されると「そうそう、ようけ獲れたよ。この辺で獲れるんは金樽鯛やなあ」と川西さん。懐かしい話に花が咲きました。



「もう焼けると思うよ」

近年すっかり漁獲量が減り、宮津産という表示もあり見られなくなりました。今年は大漁とのこと。というこで、今月は『鯛のみりん干』をメインに昔ながらの食卓を再現しました。メニューは宮津産鯛のみりん干・戸田さんリクエストの大清製造の宮津蒲鉾とほうれん草のおひたし・地元伊根の卵を使っ

加悦谷祭り

4月25日・26日は加悦谷祭りが行われ、いたるところから囃子の音色や太鼓の響く音が聞こえます。与謝の園には一日早く、24日に明石地区の大代の皆さんが、お門清めに来てくれました。

「ただき、厄除け・無病息災・健康第一・長生きが一番！願いをこめ順番にガブッ！」「イタツタツタ」の声は聞こえませんでした。笑いの絶えぬ玄関前となりました。祭りの賑やかな雰囲気、一日早く楽しみました。（黒垣英樹）



「とてもありがたいね〜！」

お花見ツアーにGo!!

なぎさ苑デイケア春の恒例行事「お花見ツアー」。今年は4月5日から1週間を予定していたところ、みんなの日ごろの善い行いが神様に通じたのか、数日前から気温も一気に上昇し、お天気も連日晴れで桜も満開！

4台のなぎさ苑号に乗り込み、いざお花見場所の「宮津運動公園」に向けて出発進行！「わあ、綺麗に咲いてるな〜」今年も桜を見られて幸せやわ〜「ちよっと写真を撮りたいから、ゆっくり走ってくれ」と、にぎやかな車内はすでに宴会状態。目的地に到着後は、桜の絶景ポイントまで移動し、「ちよっとタバコでもしようか」と椅子を並べて一休み。誰かが「さくくら〜♪」と歌いだすと、ひとりまた一人と加わって、即席のデイケアコーラス部が誕生。「外で歌うのは気持ちいいわ〜」「身も心も癒されるわ〜」と職員も一緒に教曲熱唱しました。



みんな笑顔で、はいチーズ！

たくさん歌った後はお茶で喉を潤して、おやつのお饅頭をペロリ。「いつもより格別に美味しいわ〜」

その後、脇々獅子周辺をドライブしてなぎさ苑へ到着。「ええ国見ができたわ」「楽しかったわ〜いろんな所へ連れて行ってもらってありがとう」「獅子のつっじも咲いたら見に来たいな〜」とみなさんの笑顔も桜同様に満開でした。（小西建裕）

なぎさ苑喫茶は大盛況？

家族介護教室が月に2回喫茶店に変身

なぎさ苑3階では、今年1月から月に2回、ボランティアの「野菊会」みなさんにお世話になって喫茶をオープンしています。開店時間は午後2時から3時半で、毎回10〜15人が楽しんでます。

喫茶の売りはおいしいコーヒーや紅茶だけでなく、人生経験豊かなボラ



コーヒーとお菓子で一息しましょ

ンティアさんの笑顔と絶え間ないおしゃべり：「こんなええところあったんか」「また呼んでえな」と評判も上々。

普段は全介助で食事をしている人が、熱いコーヒーカップを片手で持つて、身をのりだすようにカップに口をつけてコーヒーを飲んでる姿を見ると、思わず「すごい！」と声が出てしまいます。

これからも利用者さんにとって、癒される場になればと思っております。（由利洋子）

生活の中のリハビリ

「ながら作業」のすすめ

なぎさ苑 作業療法士 橋本彩乃

「よく物忘れをする」と感じる人は多いと思います。この場合、脳の前頭野という部分が機能低下している可能性があります。この部位を活性化させる方法はいくつかわかりますが、簡単・気軽にできるものとして「ながら作業」があります。「ながら作業」とは、二つの異なる動作を同時に行う作業です。例えば、「歌を

歌いながら掃除をする」「新聞を声に出して読む」などがあります。

その他にも、2日遅れの日記を付けるなどしてエピソード記憶から海馬を鍛えたり、時には非利き手で食事や歯磨きなどをするのも、脳を活性化させるのに役立ちます。

みなさんも、バランスの良い食事と良質の睡眠の確保に加え、適度な有酸



大きな声で「バンザ〜イ！」

素運動と「ながら作業」を生活の中に取り入れてみてはいかがですか？

平成22年度事業計画について

■基本方針

平成22年度は、昨年度からの介護報酬改定に対応するため、各施設・事業所の人員配置や各種資格取得に向けて更なる充実を図り、安定した事業運営を行っていくとともに、引き続き地域福祉の連携を密にし、利用者の尊厳をモットーに安全・安心・持続した経営を展開します。

■福祉施設部門

1. 特別養護老人ホーム(天橋園・与謝の園・天橋の郷)

利用者一人ひとりの「思い」や「願い」を尊重し、その人らしい生き方が実現できるよう努めます。

2. 居宅介護支援事業(天橋園・与謝の園・はまなす苑・なぎさ苑)

地域における身近な相談窓口として、永年住みなれた地域や家庭で安心して生活ができるよう、自立支援を基本に積極的な援助を行います。

3. 訪問介護事業・介護予防訪問介護事業(天橋・与謝の園)

住みなれた地域や家庭で安定した生活ができるよう、各関係機関との連携のもと「自立支援」に向けた利用者本位のサービスを提供します。

4. 通所介護事業・介護予防通所介護事業(天橋園・はまなす苑・ハウゼ天橋・与謝の園・天橋の郷)

利用者の高齢化・重度化が進むなか、可能な限り在宅生活を継続できるよう、各関係機関との連携のもと、利用者ニーズに基づいた介護および介護予防サービスを提供します。

5. 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業(天橋園・与謝の園・天橋の郷)

利用者の在宅生活の維持・継続に向けて、利用者とその家族のニーズに対応した質の高いサービスを実施していきます。

6. 訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業(与謝の園)

訪問入浴を通じて利用者の身体の清潔保持を図るとともに、利用者が居宅において安定した生活を営むことができるよう支援します。

7. 認知症対応型共同生活介護事業・介護予防認知症対応型共同生活介護事業(天橋の家)

充実した生活の場を入居者に提供するとともに、可能な限り残存機能を維持・発揮できるよう支援します。

■老人保健施設部門

1. 介護老人保健施設・短期入所療養介護事業・介護予防短期入所療養介護事業(なぎさ苑)

老人保健施設の理念である「在宅復帰施設」「在宅生活支援施設」「リハビリテーション施設」に則り、他職種が連携し利用者一人ひとりの「意思」と「ニーズ」を尊重した「個別的なケア」の実現に努めます。

2. 通所リハビリテーション事業・介護予防通所リハビリテーション事業(なぎさ苑)

利用者が安全に在宅生活が継続できるように日常動作の維持・回復をめざし、生活の質の向上や社会参加の機会の確保を重視したリハビリテーションや個別ケアの充実に努めます。

平成21年度事業実績について

1. 福祉施設部門

平成21年度は介護保険導入後3回目の介護報酬改定で、初めてのアップ改定となり、職員処遇改善として給与アップに取り組みました。

また事業運営においては、前年度に引き続き赤字予算となる厳しいスタートでありましたが、新しい介護報酬に対応すべく、各施設・事業所の人員配置の見直しや資格取得に努力したことにより、法人全体では黒字決算となりました。

介護サービスの質の向上活動では、「利用者本位」「利用者の尊厳」を第一に、法令遵守の精神と北星会三つの誓いを実行し、決められた事を守り、日夜努力してきました。

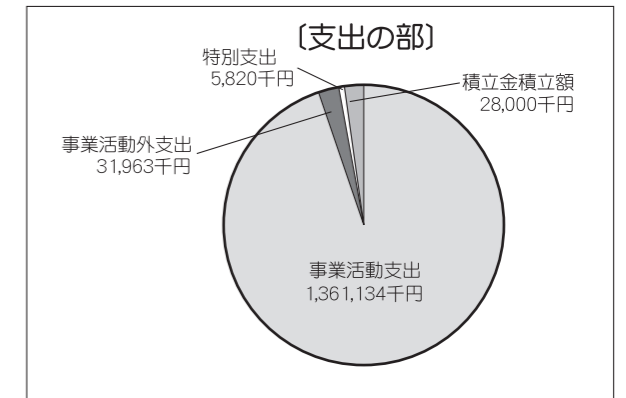
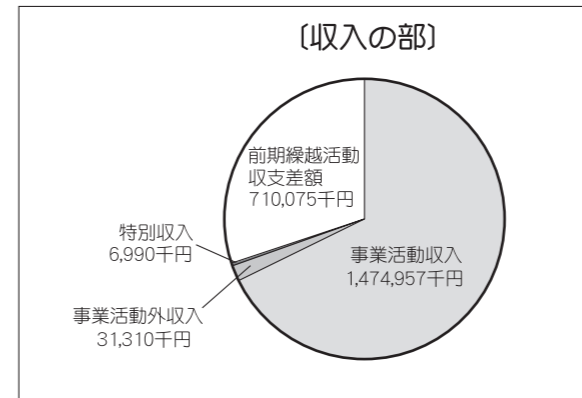
2. 老人保健施設部門

平成21年度は全国的な新型インフルエンザの流行により、その感染予防につとめる年となりましたが、早期の予防接種と常に情報を収集することにより利用者への感染はなく、ベッド稼働率も99.0%と高率で維持することができました。

施設行事については、昨年引き続き各ユニットの担当者が計画を立て様々な行事に取り組むとともに、恒例のなぎさ苑まつりもボランティアの方々の協力のもと成功することができました。

平成21年度決算状況について

福祉施設部門(19事業)



老人保健施設部門(4事業)

